

令和3年度

豊能二次医療圏 「地域医療構想」の進捗状況

大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに
公民のイコルフットイングで
病床機能分化の議論を進める

Contents

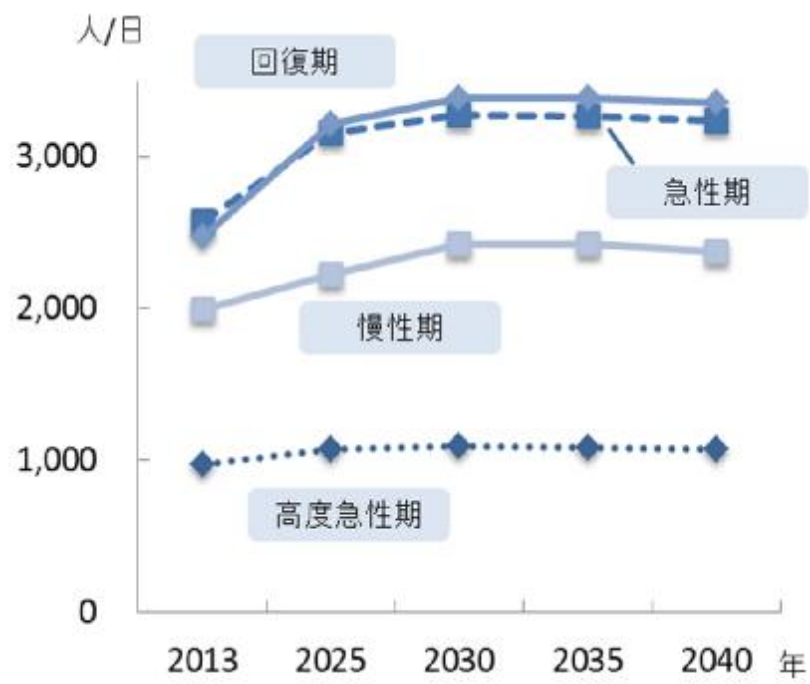
- 1 豊能二次医療圏の概要**
 - (1) 今後の医療需要の見込み
 - (2) 医療体制の概要
 - (3) 病床機能分化の状況

- 2 将来のあるべき医療体制に向けて**
 - (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能
 - (2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

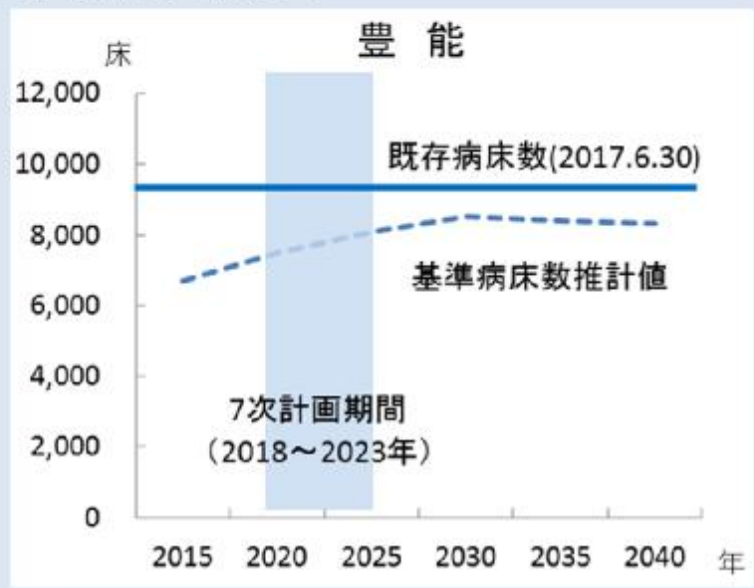
1 豊能二次医療圏の概要 (1) 今後の医療需要の見込み

豊能二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に、急性期と回復期)が増加する見込みである

● 病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)



● 基準病床数の見込み



基準病床数の将来見込みでは、2030年においても、既存病床数に達しない見込み。

	2013年	2025年		2030年		2035年		2040年	
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年
高度急性期	970	1,077	1.11	1,090	1.12	1,081	1.11	1,069	1.10
急性期	2,577	3,154	1.22	3,275	1.27	3,267	1.27	3,234	1.25
回復期	2,473	3,219	1.30	3,382	1.37	3,384	1.37	3,354	1.36
慢性期	1,995	2,227	1.12	2,420	1.21	2,421	1.21	2,378	1.19
合計	8,015	9,677	1.21	10,167	1.27	10,153	1.27	10,035	1.25

参照：第7次大阪府医療計画 一部改編

1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要①

豊能二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が4病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が7病院である

●主な医療施設の状況

No.	所在地	病院名	新公立病院改革プラン にかかると補足調査対象	公的医療機関等 2025プラン 対象病院	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院	
																			○
1	豊中市	関西メディカル病院		○		○	○			○									
2		市立豊中病院	○			○					□				○	○			
3		独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター		○			○				○								○
4	池田市	市立池田病院	○			○	○				○								
5	吹田市	大阪市立弘済院附属病院		○				○											
6		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府 済生会千里病院		○		○		○		○	○	○							
7		国立研究開発法人国立循環器病研究センター		○	○		○								○				
8		市立吹田市民病院	○				○				○								
9		大阪大学医学部附属病院		○	○		○				□	○	○		□				○
10		社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院		○		○		○		○	○				○				
11	箕面市	箕面市立病院	○			○	○			○									
合計			4	7	2	6	1	10	0	4	7	2	2	0	4	1	0	2	



2021年10月末時点
【対象病院数43の内訳】
公立病院：4
公的病院：7
民間等病院：32

※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院（国指定）」、○印は「大阪府がん診療拠点病院（府指定）」を示す。
※ 「周産期母子医療センター」の□印は「総合周産期母子医療センター」、○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

参照 第7次大阪府医療計画一部改編

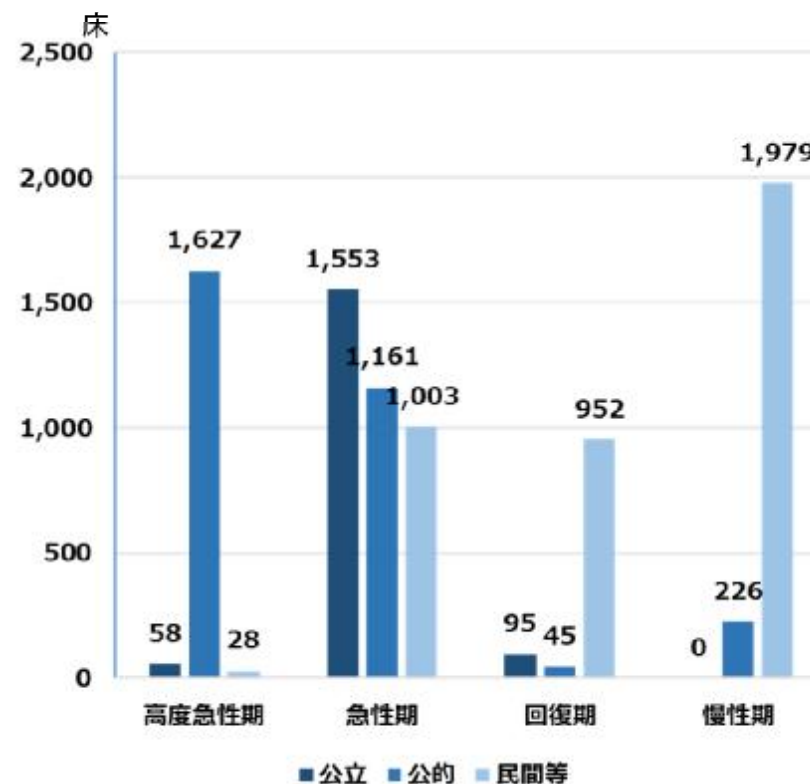
1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要②(病床機能別実態)

高度急性期は公的病院に、急性期は公立病院に、回復期と慢性期は民間病院に多い

● 病院プラン調査等提出

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	4	4	100%
公的	7	7	100%
民間等	32	31	96.9%
合計	43	42	97.7%

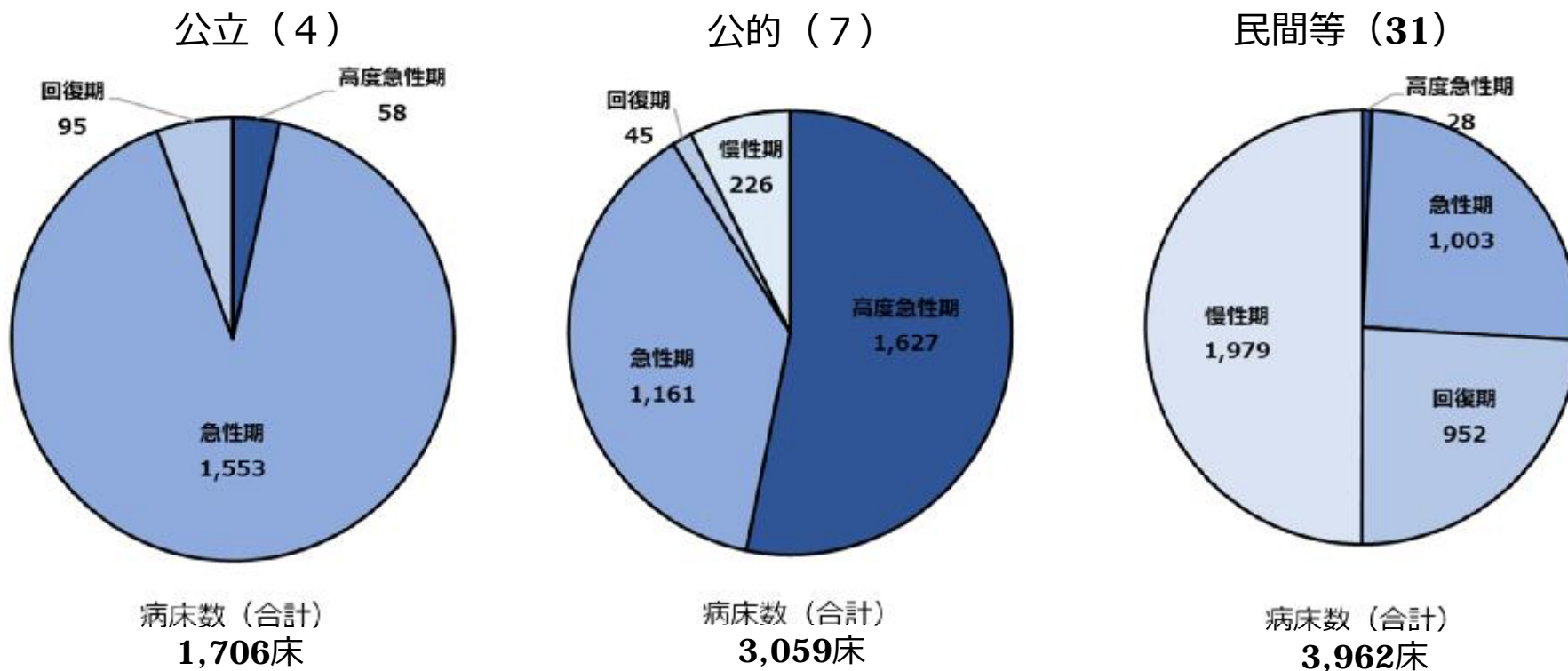
● 病床機能別病床数



1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要③(公民別病床機能)

公立・公的・民間等、それぞれにおいて有する病床機能の割合は異なっている

- 公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出42病院(公立4、公的7、民間等31))



1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要④(公民別病床機能)

●【参考】保健所別病床機能別割合

病床機能別病床数【令和3年7月時点】(池田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	17	614	50	0	681
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	166	436	343	945
計	17	780	486	343	1,626

病床機能別病床数【令和3年7月時点】(豊中市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	37	557	0	0	594
公的	9	355	45	226	635
民間等	10	350	329	1,023	1,712
計	56	1,262	374	1,249	2,941

病床機能別病床数【令和3年7月時点】(吹田市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	4	382	45	0	431
公的	1,618	806	0	0	2,424
民間等	18	487	187	613	1,305
計	1,640	1,675	232	613	4,160

病床機能別割合【令和3年7月時点】(池田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	2.5%	90.2%	7.3%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
民間等	0.0%	17.6%	46.1%	36.3%	100%
計	1.0%	48.0%	29.9%	21.1%	100%

病床機能別割合【令和3年7月時点】(豊中市保健所所管内)

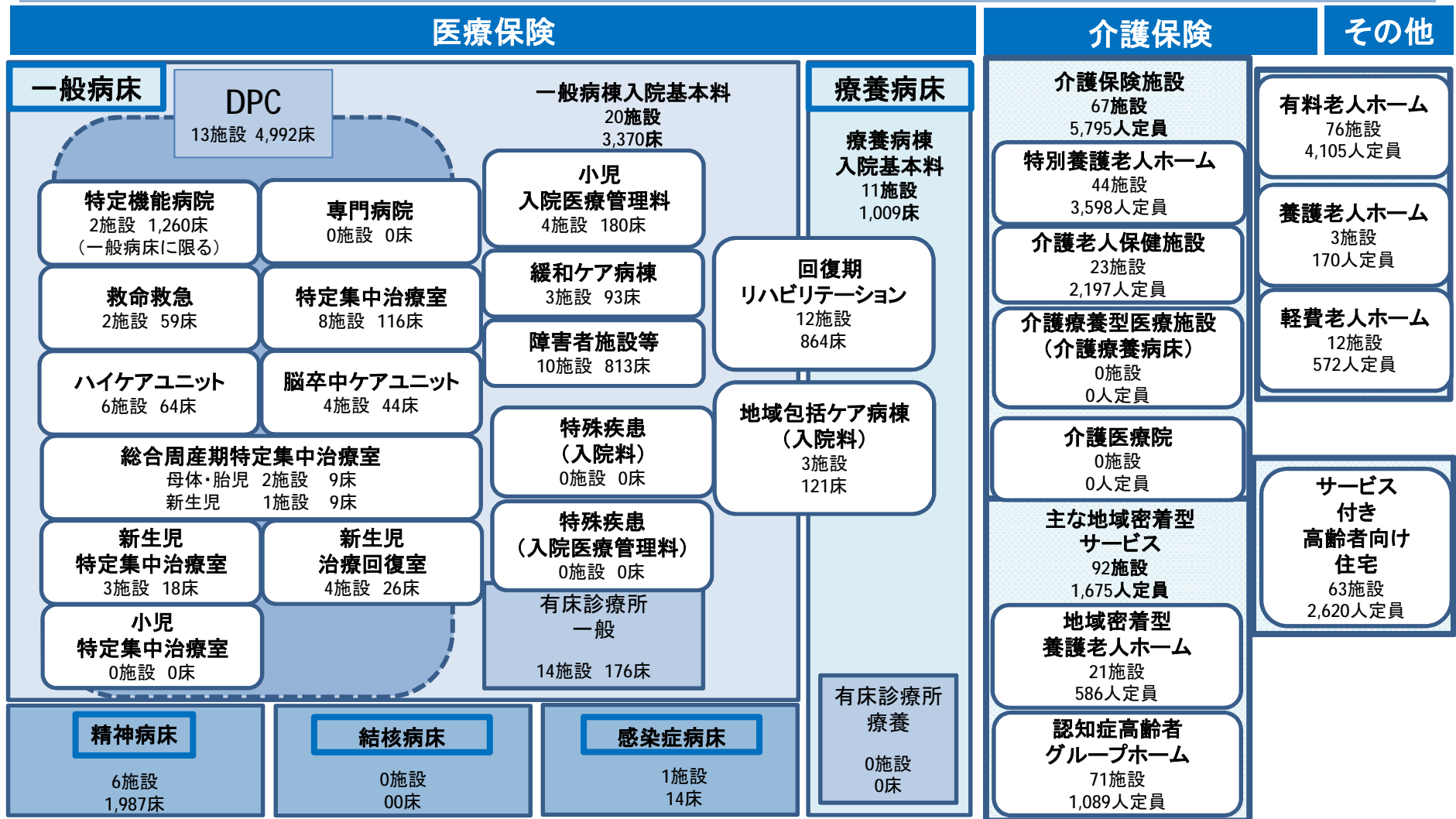
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	6.2%	93.8%	0.0%	0.0%	100%
公的	1.4%	55.9%	7.1%	35.6%	100%
民間等	0.6%	20.4%	19.2%	59.8%	100%
計	1.9%	42.9%	12.7%	42.5%	100%

病床機能別割合【令和3年7月時点】(吹田市保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0.9%	88.6%	10.4%	0.0%	100%
公的	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100%
民間等	1.4%	37.3%	14.3%	47.0%	100%
計	39.4%	40.3%	5.6%	14.7%	100%

1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑤(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機関・施設から構成されているが、
介護療養型医療施設・介護医療院はない



出典 「医療保険」病床機能報告(2020年7月1日時点)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2021年10月31日時点))

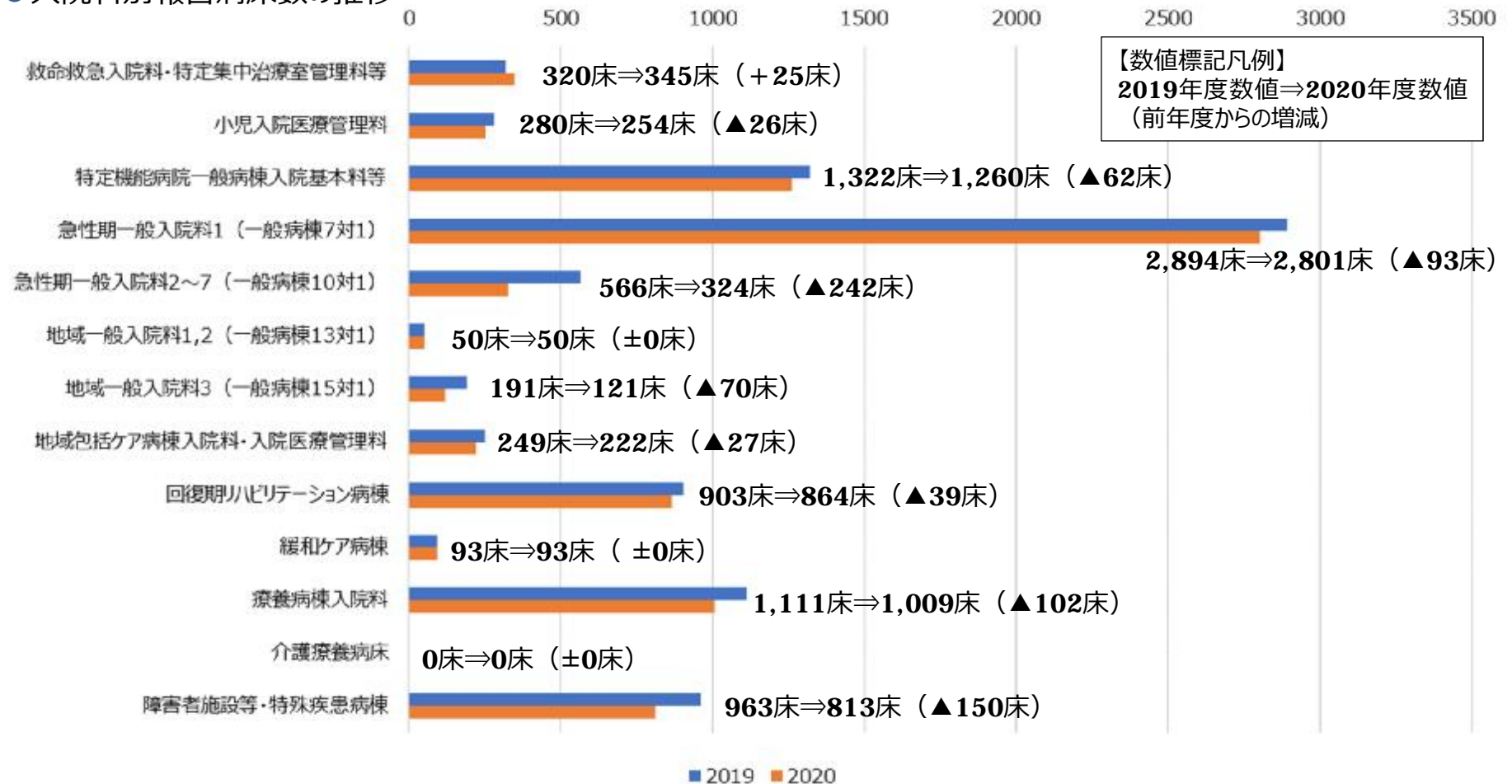
「介護保険・その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームの施設数は2021年4月1日時点、定員数は2020年3月31日時点、

有料老人ホームは2021年10月1日時点、サービス付き高齢者向け住宅は2021年4月30日時点、その他施設は2021年4月1日時点)

1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑥ (入院料別の経年変化)

前年度と比べ、救命救急入院料等が増加している

● 入院料別報告病床数の推移



1 豊能二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑦(転換補助金)

豊能二次医療圏での「病床転換等促進事業補助金」の交付実績はない

病床転換等促進事業補助金（実績）

大阪府全体

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	3	3	3	119	119	119
2016年	5	3	0	103	63	0
2017年	7	5	2	303	125	41
2018年	7	6	0	315	285	0
2019年	8	4	1	256	44	6
2020年	6	5	0	262	154	0
合計	36	26	6	1358	790	166

1 豊能二次医療圏の概要 (3) 病床機能分化の状況

病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、豊能二次医療圏で約11%程度同機能への転換が必要と推計

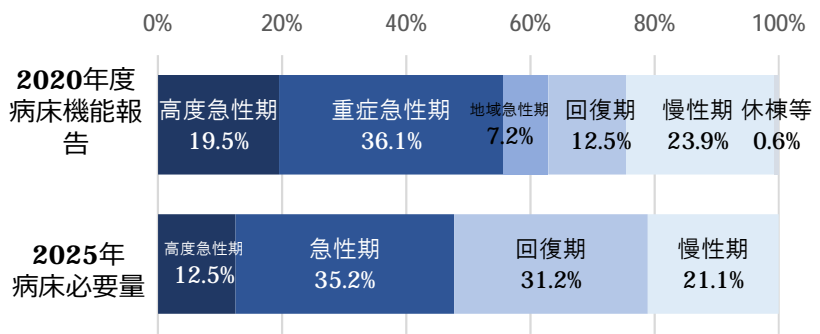
● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
				重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床数の必要量	2013	1,294	3,304				2,748	2,169			9,515
病床機能報告	2014	1,802	3,960				854	1,971	314	339	9,240
病床機能報告	2015	1,772	4,067				811	2,149	148	291	9,238
病床機能報告	2016	1,775	3,990				966	2,057	61	373	9,222
病床機能報告	2017	1,746	4,072	3,117	0	955	1,066	2,175	0	25	9,084
病床機能報告	2018	1,794	4,135	3,321	0	814	1,055	2,121	74	0	9,179
病床機能報告	2019	1,764	4,083	3,402	0	681	1,102	2,129	73	19	9,170
病床機能報告	2020	1,745	3,877	3,230	0	647	1,121	2,138	57	90	9,028
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	1,129	3,181				2,813	1,904			9,028
病床数の必要量【オリジナル】	2025	1,436	4,044				3,577	2,421			11,478

● 病床機能報告 (2020年度) と病床数の必要量 (2025年) の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等
				重症急性期	急性期(不明)	地域急性期			
病床機能報告	2019	19.3%		37.2%	0.0%	7.4%	12.0%	23.3%	0.8%
病床機能報告	2020	19.5%		36.1%	0.0%	7.2%	12.5%	23.9%	0.6%
病床数の必要量	2025	12.5%	35.2%				31.2%	21.1%	

サブアキュート・ポスト アキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測



① 病床機能報告 (地域急性期 + 回復期)

2019年度	19.4%
2020年度	19.8%

② 病床数の必要量 (回復期)

31.2%

割合の差
11.4%
(約1,000床)

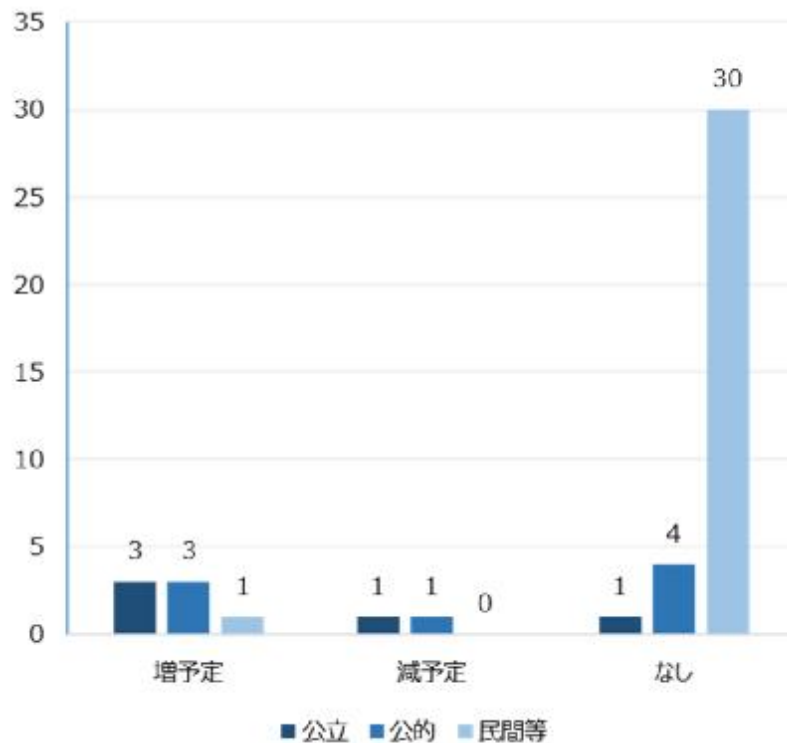
出典 病床機能報告

2 将来のあるべき医療体制に向けて

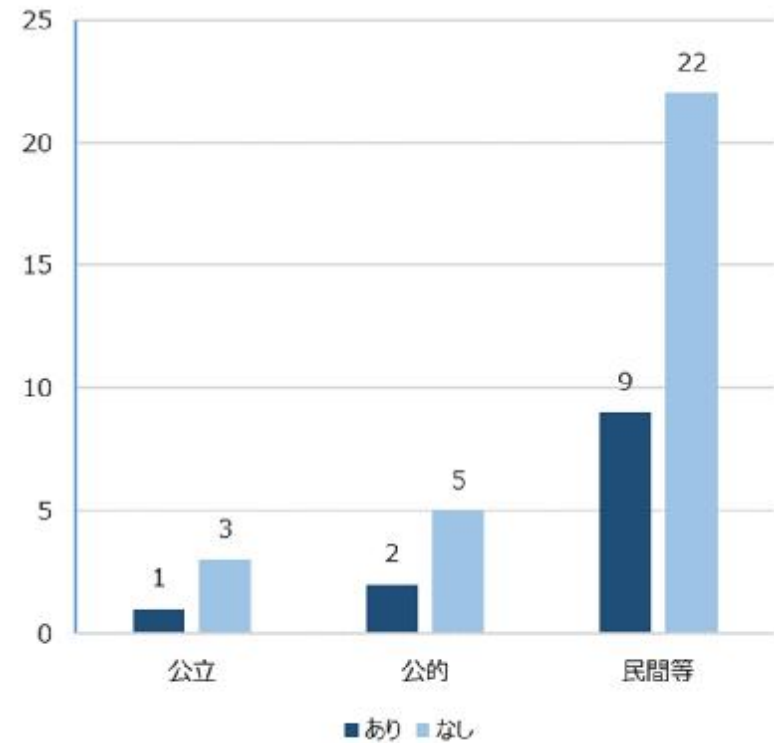
(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能①

約3割の医療機関が病院の建て替えを検討している

● 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



● 建て替えの検討の有無



② 将来のあるべき医療体制に向けて

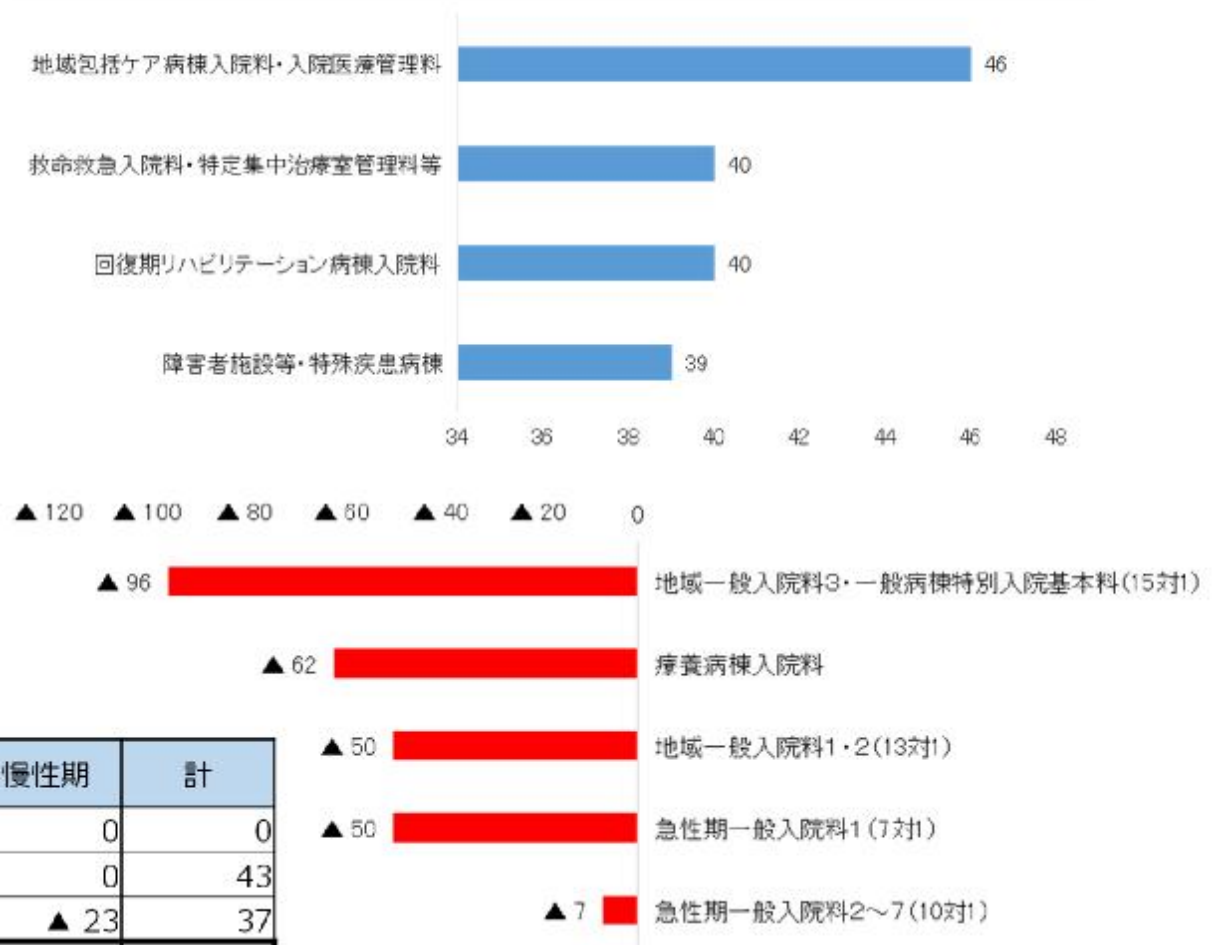
(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能②

高度急性期・回復期は増え、入院料別では、地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料、救命救急入院料・特定集中治療室管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料、障害者施設等・特殊疾患病棟は増える方向となっている

●入院料別の検討状況※

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出



●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	7	▲ 7	0	0	0
公的	44	▲ 1	0	0	43
民間等	12	▲ 31	79	▲ 23	37
計	63	▲ 39	79	▲ 23	80

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能③

●【参考】保健所管内別病床機能の検討状況※

病床機能別増減表（豊能：池田保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	4	▲ 4	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	37	0	0	37
計	4	33	0	0	37

病床機能別増減表（豊能：豊中市保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	3	▲ 3	0	0	0
公的	21	▲ 21	0	0	0
民間等	0	▲ 50	30	20	0
計	24	▲ 74	30	20	0

病床機能別増減表（豊能：吹田市保健所管内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	23	20	0	0	43
民間等	12	▲ 18	49	▲ 43	0
計	35	2	49	▲ 43	43

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

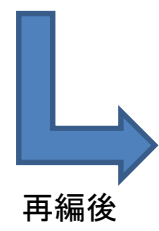
2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能④

大阪市立弘済院附属病院は、大阪市立大学医学部附属病院、総合医療センターと2025年に再編統合し、大阪市医療圏に新病院を開設予定

●豊能・大阪市北部・南部

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
都島区	大阪市立総合医療センター	807	168	0	0	0	975
阿倍野区	大阪市立大学医学部附属病院	927	0	0	0	0	927
吹田市	大阪市立弘済院附属病院	0	90	0	0	0	90
計		1734	258	0	0	0	1992



再編統合予定時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
2025年度	大阪市立総合医療センター	807	143	0	0	950	
	大阪市立大学医学部附属病院	921	0	0	0	921	
	【新】新病院（住吉区）	0	120	0	0	120	
計		1728	263	0	0	1991	
増 減			▲ 6	5	0	0	▲ 1

※当プランについては、令和2年度協議会で転換内容合意済

2 将来のあるべき医療体制に向けて

(2) 2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

- 将来に向けて地域包括ケア病棟への転換数は増加する見込みである
- 公的病院を中心に、救命救急入院料・特定集中治療室管理料等の高度急性期機能への転換を検討している医療機関がある